

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
348	老人ショートステイ事業	01	一般会計		
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	03	民生費	
			02	老人福祉費	
			01	老人福祉総務費	
担当部課名	大山田支所 健康福祉課		細目	102	在宅老人援護事業
作成者氏名	川合 文秀	連絡先	細々目	02	老人ショートステイ事業
		47-1151(内線220)			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	居宅において介護を受けることが一時的に困難になった高齢者及びその家族	介護者の介護負担の軽減とともに、要介護者の生活を確保する。			
本年度事業内容	介護を行う者が疾病等で家庭で介護できない場合、申請により短期的に施設へ入所させる。(年間30日以内)				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市老人短期入所事業実施要綱

投入資源

投入人員	正規職員 (人)	H17	H18(予算)	H19(予算)
		0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
支出内訳(千円)	事業費(B)	65	170	170
	消耗品	65	170	170
合計(A+B)		785	890	890
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	785	890	890
上記 - に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
施設入所者数	件	1	5	5			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
施設入所者延べ数	年間の施設入所者により事業成果が図れる	人	1 目標 ()	5	5
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

認知症高齢者が急増する見通しであるので、相談体制を充実する必要がある

評価	必要性	4	事業の現状維持が必要である。緊急避難的な事業であるが在宅介護の関係から事業の充実が必要	総合評価
	有効性	4		
	達成度	2		
	効率性	4		
				A